

6日 日曜

ルカ

19:11 人々がこれらのことに耳を傾けているとき、イエスは、続けて一つのたとえを話された。それは、イエスがエルサレムに近づいておられ、そのため人々は神の国がすぐにも現われるように思っていたからである。

19:12 それで、イエスはこう言われた。「ある身分の高い人が、遠い国に行った。王位を受けて帰るためであった。

19:13 彼は自分の十人のしもべを呼んで、十ミナを与え、彼らに言った。『私が帰るまで、これで商売なさい。』

19:14 しかし、その国民たちは、彼を憎んでいたので、あとから使いをやり、『この人に、私たちの王にはなってもらいたくありません。』と言った。

19:15 さて、彼が王位を受けて帰って来たとき、金を与えておいたしもべたちがどんな商売をしたかを知ろうと思ひ、彼ら呼び出すように言いつけた。

19:16 さて、最初の者が現われて言った。『ご主人さま。あなたの一ミナで、十ミナをもうけました。』

19:17 主人は彼に言った。『よくやった。良いしもべだ。あなたはほんの小さな事にも忠実だったから、十の町を支配する者になりなさい。』

19:18 二番目の者が来て言った。『ご主人さま。あなたの一ミナで、五ミナをもうけました。』

19:19 主人はこの者にも言った。『あなたも五つの町を治めなさい。』

19:20 もうひとり来て言った。『ご主人さま。さあ、ここにあなたの一ミナがございま



す。私はふろしきに包んでしまっておきました。

19:21 あなたは計算の細かい、きびしい方ですから、恐ろしゅうございました。あなたはお預けにならなかったものをも取り立て、お蒔きにならなかったものをも刈り取る方ですから。』

19:22 主人はそのしもべに言った。『悪いしもべだ。私はあなたのことばによって、あなたをさばこう。あなたは、私が預けなかったものを取り立て、蒔かなかつたものを刈り取るきびしい人間だと知っていた、というのか。』

19:23 だったら、なぜ私の金を銀行に預けておかなかったのか。そうすれば私は帰って来たときに、それを利息といっしょに受け取れたはずだ。』

19:24 そして、そばに立っていた者たちに言った。『その一ミナを彼から取り上げて、十ミナ持っている人にやりなさい。』

19:25 すると彼らは、『ご主人さま。その人は十ミナも持っています。』と言った。

19:26 彼は言った。『あなたがたに言うが、だれでも持っている者は、さらに与えられ、持たない者からは、持っている者までも取り上げられるのです。』

19:27 ただ、私が王になるのを望まなかったこの敵どもは、みなここに連れて来て、私の目の前で殺してしまえ。』

イエス様が王になるまでには相当の期間があり、その間には使命があると、イエス様はたとえて理解させます。大切なことは、この王となるべき人を喜んでいるかどうかということです。彼の王位を喜んでいるなら、与えられたもので王のために生きるでしょう。

私たちがやがて万物の王、全能の支配者として来られる主イエス様のために、その全能を喜んで、主のために仕えましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

